

人権擁護委員とは…

人権擁護委員の任期は1期3年。法務大臣が委嘱した民間の委員です。

住民から人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済をしたり、住民に人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。**問題解決のための職務を行うに当たっては、秘密は厳守されます。**



▲感謝状が贈られた草野さん(中央右)と新たに任命された佐藤さん(中央左)

人を思いやる気持ち大切に

人権擁護委員

人権擁護委員として2期・6年間ご尽力され、退任された草野周一さん(飯樋町)に福島地方法務局相馬支局長から感謝状が贈られ、10月5日、報告に村役場飯野出張所を訪れました。報告の際、菅野村長から「人権を守り、心に寄り添って活動をしていただいた。誰にでもできることではない。これからもお力添えをいただければ」と感謝の言葉がありました。

草野さんからは「2期6年、長くはなかったが、やれることを少しずつさせていただきました。講習などもあり、自分自身がいろいろと学ぶことができました」と活動振り返り話していました。

また、新たに人権擁護委員として佐藤峯夫さん(宮内)が任命され「村民のために少しでも役に立てるよう、講習などを受講し、がんばっていきたい」と新たな委員として気をひきしめていました。



▲菅野村長による安全祈願の鉢入れ



▲建設工事が始まった南相馬消防署飯館分署の完成予想図

消防防災の拠点へ

南相馬消防署飯館分署

相馬地方広域消防南相馬消防署飯館分署の建設工事が9月24日に着工し、10月6日に村内現地(草野字大師堂)において、安全祈願祭が行われました。

この日は、菅野村長をはじめ、村関係者や工事関係者らが出席し、工事の安全を願いました。

新しい分署は、完成すると鉄骨造りの2階建て。建物内には出動準備室や倉庫、食堂、仮眠室の他、2階には訓練スペースがあり、人命救助の訓練を行うことができます。

安全祈願を終えた菅野村長は出席者に対して「原発事故による全村避難からもう4年半。消防団、分署、警察などが中心となり村を守ってきた。中々でも分署は24時間村を守り続けてもらっている。来春の完成後には、そこで帰村を待っていたらいい」とあいさつをのべ、関係者の労をねぎらっていました。新しい分署は、来年3月に完成予定です。



Q 避難解除後、村の学校はどうなるのですか。

A 「飯館村学校等再開検討委員会」を設置し、学校再開時期と必要施策の検討が進められています。

村の未来を担う人材を育成するうえで、学校は欠くことのできない重要な役割を持っています。現在、村の幼稚園は福島市飯野町、小学校は川俣町、中学校は福島市飯野町でそれぞれ仮設校舎で教育活動を行っていますが、いずれは村に学校を戻さなければなりません。

村教育委員会では、「飯館村学校等再開検討委員会」を10月7日に設置し、学校再開の場所およびそれに伴う必要の施策について村長より諮問を受けました。委員会では年内に中間意見をまとめ、村長に答申することが予定されています。

第1回検討委員会で出された意見(一部抜粋)

- 学校再開について、保護者への説明会およびアンケート等を行うことが必要。
- 安心・安全な場所での学校再開が第一。学校施設だけでなく、学校施設周辺の線量マップ等の作成や正確な線量の把握が必要。
- 村内で再開された場合、スクールバスの運行が必要。
- 村内学校施設の状況を確認することが必要 等。

現在の村立幼稚園、小・中学校の就園・就学状況

幼稚園…福島市飯野町内の仮設園舎で2園が1か所で再開中。	園児数：47人 就園率：34.3%
小学校…川俣町内の仮設校舎で3校が1か所で再開中。	児童数：156人 就学率：48.6%
中学校…福島市飯野町内の仮設園舎で再開中。	生徒数：101人 就学率：57.4%

村内学校再開について、多様な角度から検討をすすめていきます。

地位の逆転

飯館村教育委員会 学校教育指導員 海野 和夫

わが家で、親と子どもの地位が逆転したという思いはありませんか。それは親が子どものいいなりという事態です。

親としての生涯は、授かった子を産み、保護し、躾、子と手を切り、いずれ子の世話になり死に至る、です。地位の逆転は親が子と手を切るのを怠ることによって生じます。

子どもと大人の境目は10歳です。ひとつ、ふたつ…このつと、年齢を「つ」とつけて数えるまでが子どもです。親が先走りをして何事にも手を出し、口を出して子どもを支配し続けると、10歳のころから親と子の地位が逆転します。

地位の逆転は子どもが生きたための手本をなくしたことを意味します。人生を当てもなくさまよい歩かざるを得なくなります。その結果、親の言うことはさっぱり聞かないが、自分がすべきことには無気力という状態に陥ります。

子どもにとって大切なのは「俺(私)って満更でもないな」という自己有能感をもつことです。逆転の地位にある子どもは、自己有能感に乏しく、高校受験に際しても向上心を燃やして進路を切り拓く意志をなくしています。

地位の逆転は子にとっての不幸です。飯館村の家族に地位の逆転がないよう祈ります。

教育相談の申し込み 飯館中学校教頭まで
☎024-573-1161